

2026年3月期 第2四半期 決算説明資料

マクニカホールディングス株式会社

2025年10月27日

※ 本決算説明資料では、「集積回路及び電子デバイスその他事業」を半導体事業としています。
2026年3月期より「ネットワーク事業」のセグメント名称を「サイバーセキュリティ及びその他ITソリューション事業」と名称変更を行い、サイバーセキュリティ事業としています。
また、品目別の項目見直しを行い、「その他標準IC」を「マイコン」と「パワーIC他」に分割して掲載しております。これに伴い、2025年3月期についても、遡及修正しております。
なお、本決算説明資料P4～9におきましては、半導体事業、サイバーセキュリティ事業、CPSソリューション事業の数字重複を除いたものを記載しております。
そのため、決算短信、データ編等の決算開示セグメントの数字と異なります。
P35のAppendix以降は、決算開示セグメントと同様の数字であり、半導体事業とサイバーセキュリティ事業にCPSソリューション事業の数字が含まれており、数字が重複しております。

AGENDA

01. 実績報告

- ① 2025年度 上期 業績ハイライト
- ② 2025年度 上期 実績（連結）

02. 中期経営計画（2025年～2027年度）

- ① 全社
- ② 半導体事業
- ③ サイバーセキュリティ事業
- ④ CPSソリューション事業
- ⑤ 経営基盤強化

03. Appendix

- ① 四半期推移

01. 実績報告

- ① 2025年度 上期 業績ハイライト
- ② 2025年度 上期 実績（連結）

2025年度 第2四半期 業績ハイライト

単位：億円	第2四半期					4-9月累積			FY25通期	
	実績	前年同期比		前四半期比		実績	前年同期比		計画	進捗率
売上高	2,938	+312	+12%	+122	+4%	5,754	+565	+11%	10,500	55%
半導体事業	2,527	+280	+12%	+142	+6%	4,911	+492	+11%	8,682	57%
サイバーセキュリティ事業	390	+32	+9%	▲26	▲6%	806	+72	+10%	1,668	48%
CPSソリューション事業	22	▲0	▲1%	+6	+40%	37	+0	+1%	150	25%
営業利益	93	▲10	▲10%	+11	+14%	175	▲48	▲22%	420	42%
半導体事業	78	▲5	▲6%	+18	+30%	138	▲42	▲23%	284	49%
サイバーセキュリティ事業	36	+7	+24%	▲7	▲17%	79	+14	+22%	181	44%
CPSソリューション事業	▲21	▲12	-	+0	-	▲42	▲21	-	▲45	-
親会社株主に帰属する純利益	59	▲13	▲18%	+8	+17%	110	▲42	▲28%	270	41%
平均為替レート（¥/USD）	146.33円					146.25円			145円	

● 第2四半期累計

半導体事業は、AI関連の増加に加え、海外での商流移管などもあり増収。Q1の急激な円高・台湾ドル高が影響し減益。
サイバーセキュリティ事業は国内・海外ともに好調を維持。

● 第3四半期以降

半導体事業は、年度後半から産業機器市場の緩やかな回復を予想。
サイバーセキュリティ事業は、セキュリティとアプリケーションのカテゴリを中心に国内・海外ともに成長を維持する見込み。CPSソリューション事業はスマートシティ/モビリティを中心に年度後半の成長を期待。

● 2025年度通期見通し

上記の状況から、2025年5月7日公表の予想値を据え置き。

配当の状況（1株当たり）

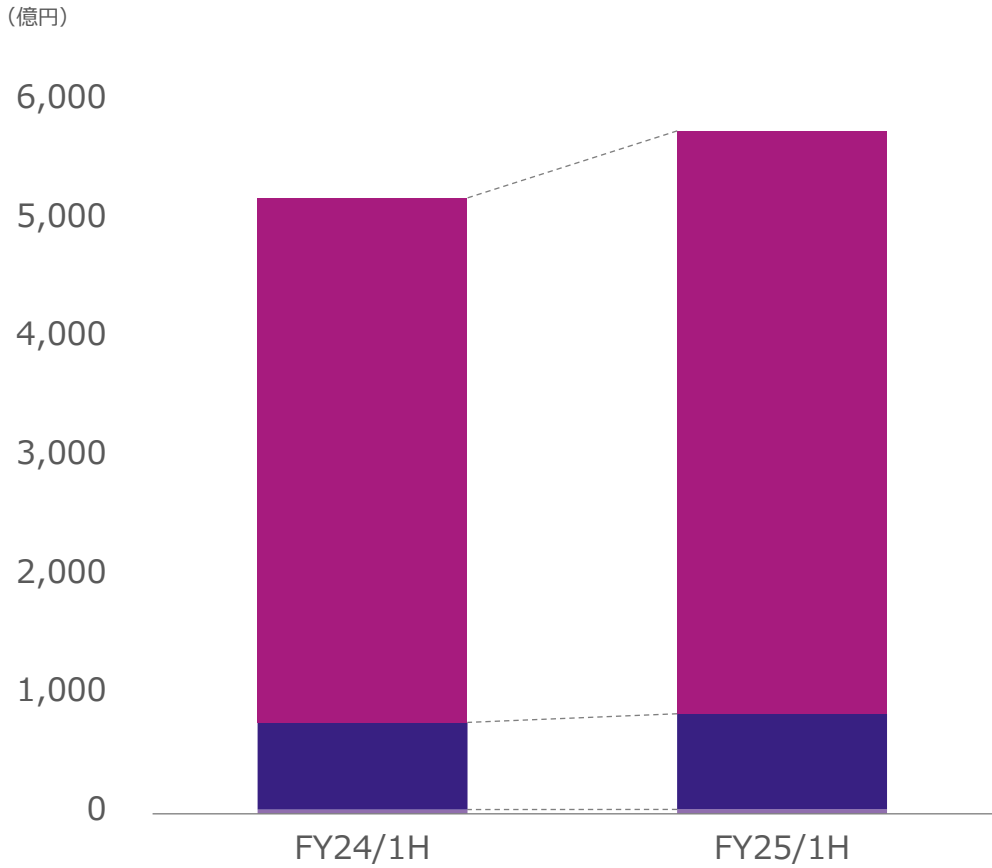
	中間	期末	年間	配当性向
2024年度	35円	35円	70円	50%
2025年度	35円	35円 ※1	70円 ※1	46% ※1

※1 予想

2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の株式分割実施。
分割日以前についても、株式分割が行われたと仮定しての数値を記載。

セグメント別：売上高

5,754億円 前年同期比+10.9%

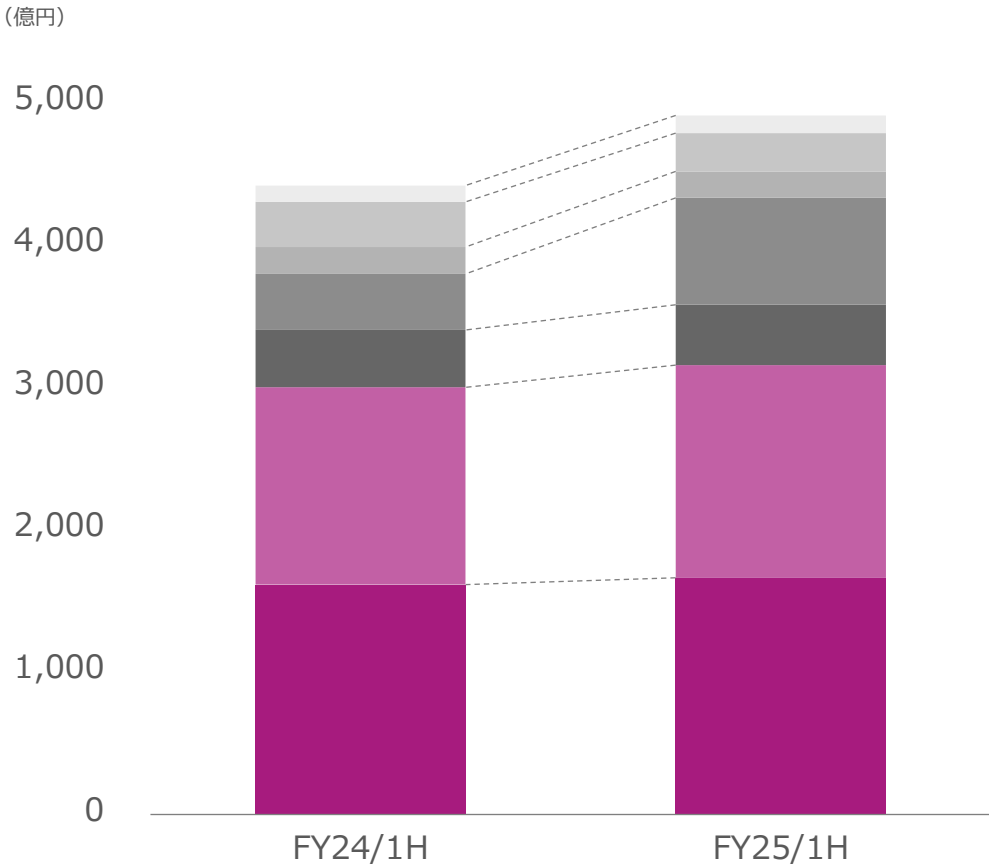


前年同期比+10.9%

(単位：億円)	FY24/1H		FY25/1H		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
半導体	4,419	85%	4,911	85%	+492	+11%
サイバーセキュリティ	734	14%	806	14%	+72	+10%
CPSソリューション	36	1%	37	1%	+1	+1%
合計	5,190	100%	5,754	100%	+565	+10.9%

半導体事業（用途別）：売上高

4,911億円 前年同期比+11.1%

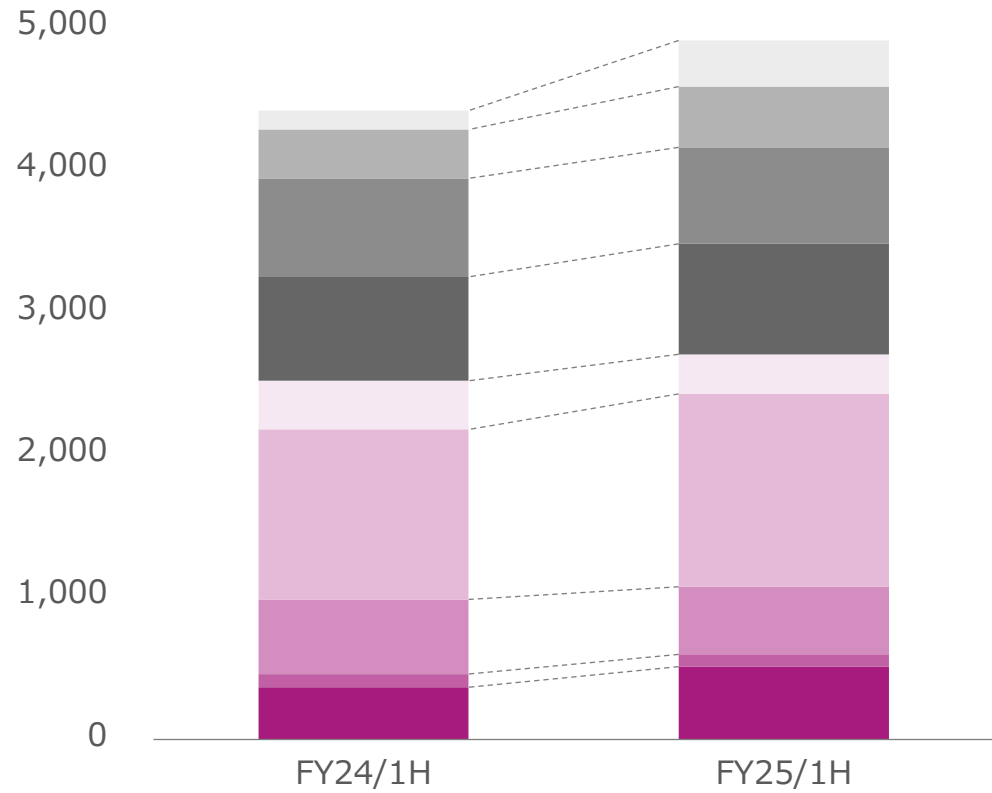


(単位：億円)	FY24/1H		FY25/1H		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
通信端末	115	3%	124	3%	+9	+8%
通信インフラ	317	7%	269	5%	▲48	▲15%
OA・周辺機器	189	4%	186	4%	▲3	▲1%
コンピュータ	394	9%	751	15%	+358	+91%
民生機器	403	9%	424	9%	+21	+5%
車載	1,386	31%	1,494	30%	+108	+8%
産業機器	1,615	37%	1,663	34%	+48	+3%
合計	4,419	100%	4,911	100%	+492	+11.1%

半導体事業（品目別）：売上高

4,911億円 前年同期比+11.1%

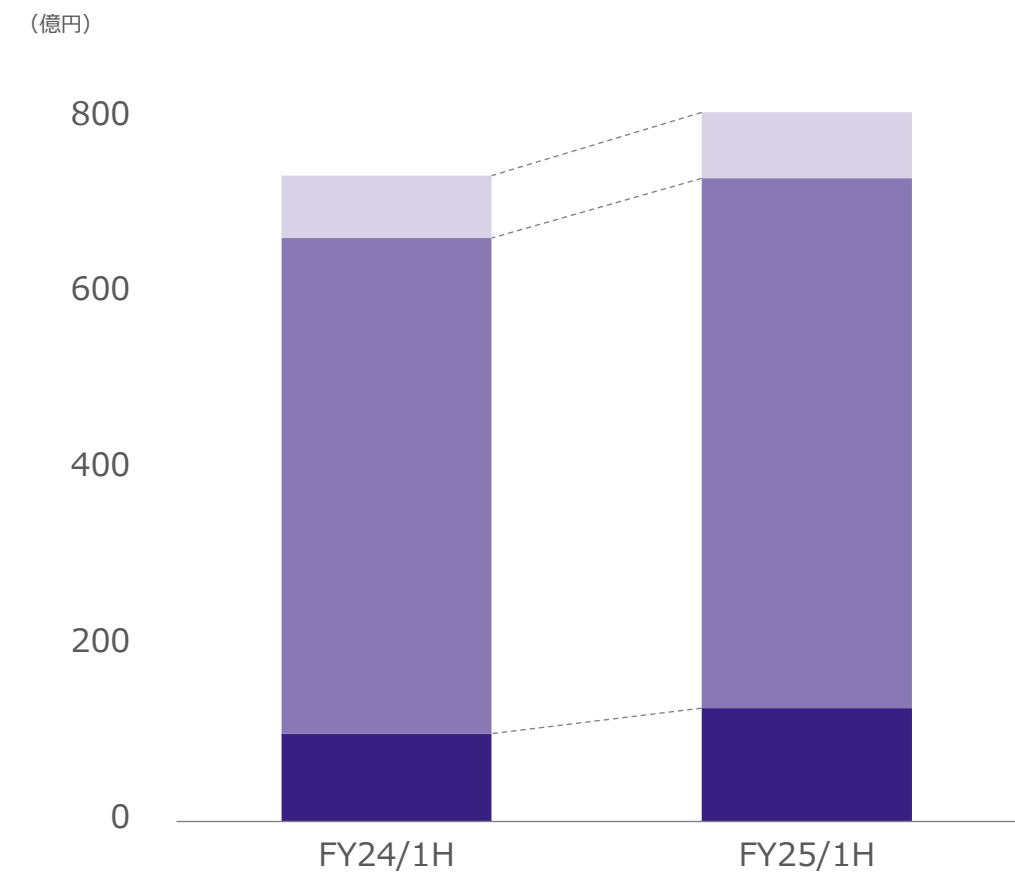
（億円）



	FY24/1H		FY25/1H		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
(単位：億円)						
その他	133	3%	324	7%	+192	+145%
電子デバイス	343	8%	427	9%	+84	+25%
パワーIC他	692	16%	678	14%	▲14	▲2%
マイコン	730	17%	776	16%	+46	+6%
メモリー	342	8%	278	6%	▲64	▲19%
アナログ	1,194	27%	1,355	28%	+160	+13%
ASSP	524	12%	475	10%	▲49	▲9%
ASIC	93	2%	86	2%	▲7	▲8%
PLD	367	8%	512	10%	+144	+39%
合計	4,419	100%	4,911	100%	+492	+11.1%

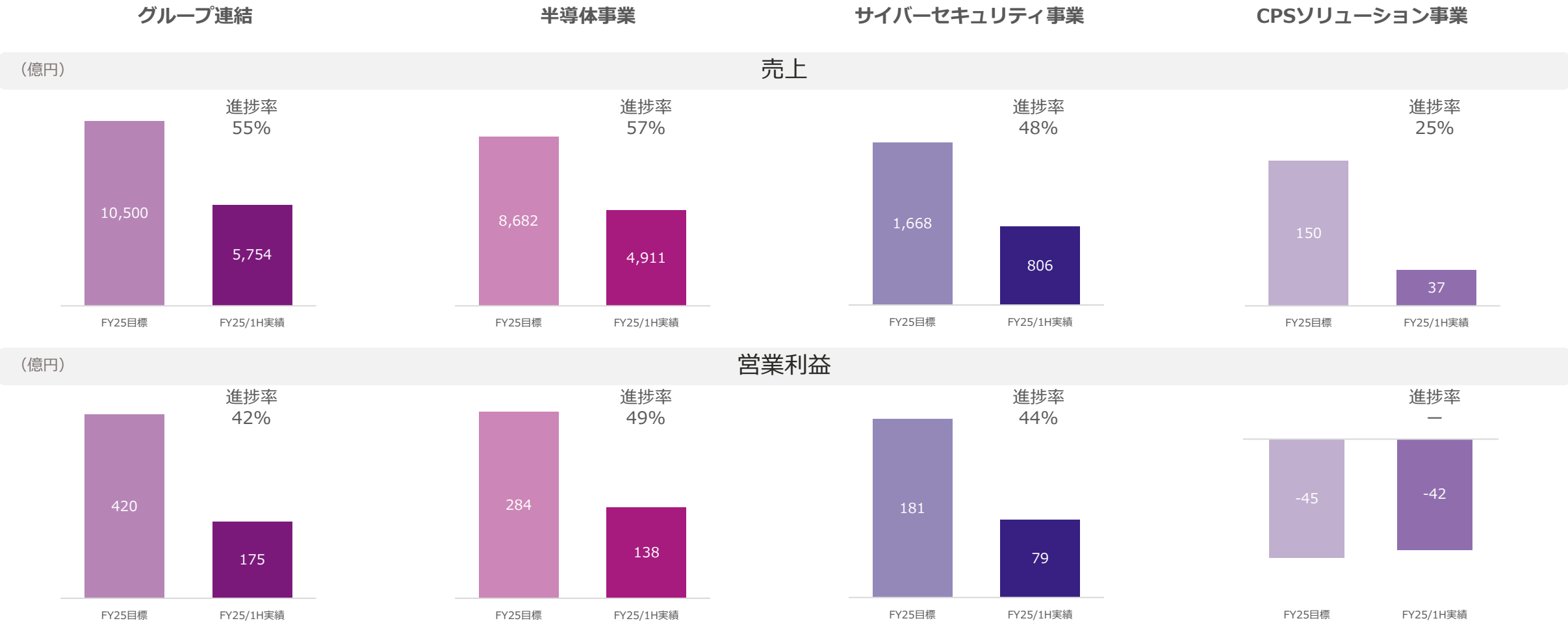
サイバーセキュリティ事業（品目別）：売上高

806億円 前年同期比+9.8%



(単位：億円)	FY24/1H		FY25/1H		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
ハードウェア	71	10%	75	9%	+4	+6%
ソフトウェア	564	77%	603	75%	+39	+7%
サービス	100	13%	129	16%	+29	+29%
合計	734	100%	806	100%	+72	+9.8%

セグメント別業績

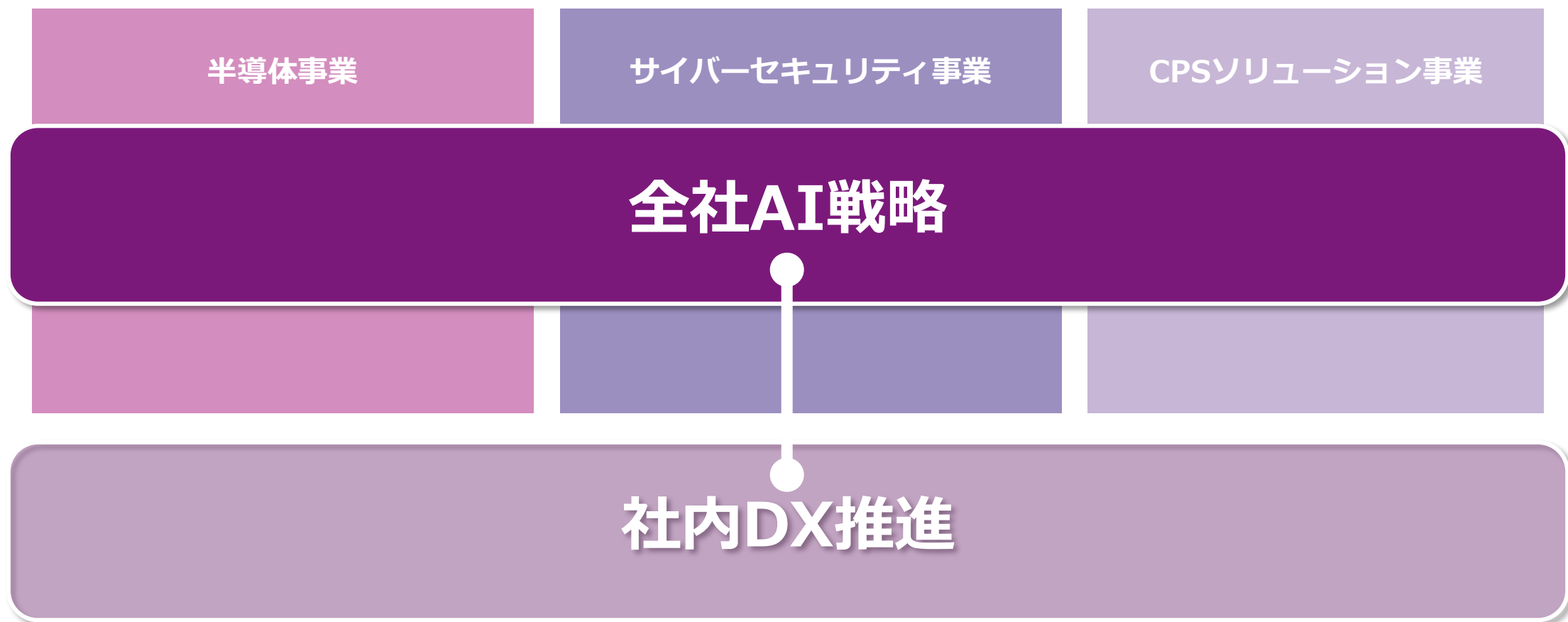


02. 中期経営計画 (2025～2027年度)

① 全社

全社AI戦略

事業横断の戦略、社内DX推進と連携



全社AI戦略



オフィスユース



現場ユース



プロダクトユース

個社向けサービス（インテグレーション・開発）

業種・業務特化型
汎用サービス

エッジ系AI商材

システム系AI商材

インフラ系AI商材

AI個別戦略：エッジ系AI商材

川上の強い商材、AIに強い技術支援、量産の商材カバレッジ

研究開発・試作

設計・開発

量産

普及

エッジ系AI商材



GPU/FPGA/ASSP

ボード



SOC

産業用PC



マクニカ技術支援

テクノロジーフィッティング

AIモデル変換

インプリメンテーション



AI個別戦略：インフラ系AI商材

商材カバレッジ、全社AI戦略による差別化



AI個別戦略：システム系AI商材

ユーザ企業、商用システムにフォーカスしたポートフォリオ

サービス・ソリューション

(自社製品)



製造販売承認書チェッカー

MACNICA
GenAI Platform**Re:Alize.**
macnica.ai**MPRESSION**
Solutions by Macnica
SMART MOTOR SENSOR**MUCV**
Macnica U's Case Visualizer

AI活用



AIシステム



AIデータ



高付加価値ディストリビューション



brighthouse AI



AI個別戦略：業種・業務特化型汎用サービス

自社データの蓄積・AI活用が企業の競争力の源泉

業種特化

製造販売承認書チェッカー

業務特化

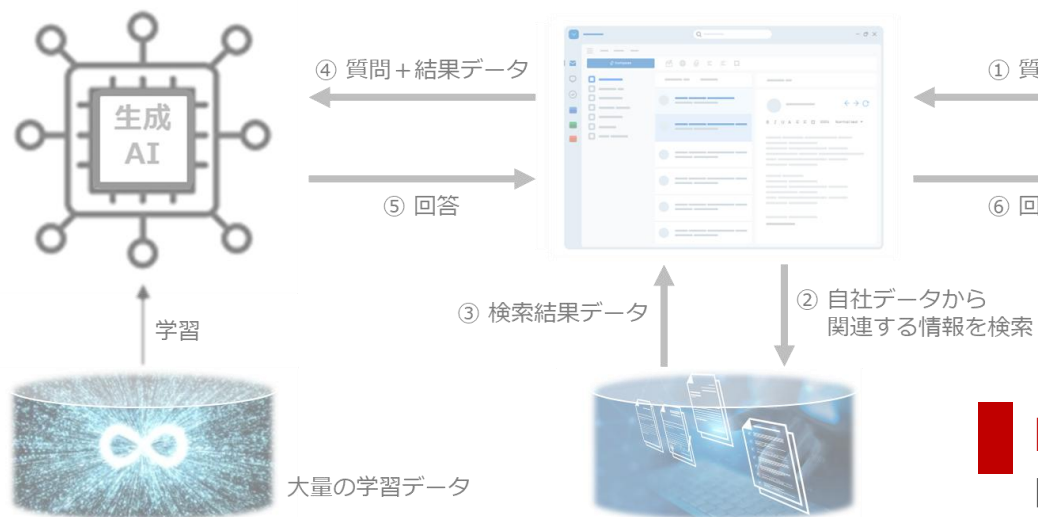
MACNICA
GenAI Platform

生成AIの選択の柔軟性

用途やその時点でベストな生成AIを柔軟に選択する

生成AIを意識しないユーザーインターフェース（UI）

生成AIを意識しないUIを容易に作れる、使う生成AIを切り替えても同じUI



自社データの活用

自社固有のデータを蓄積、アップデートすることで自社に適した回答を得る

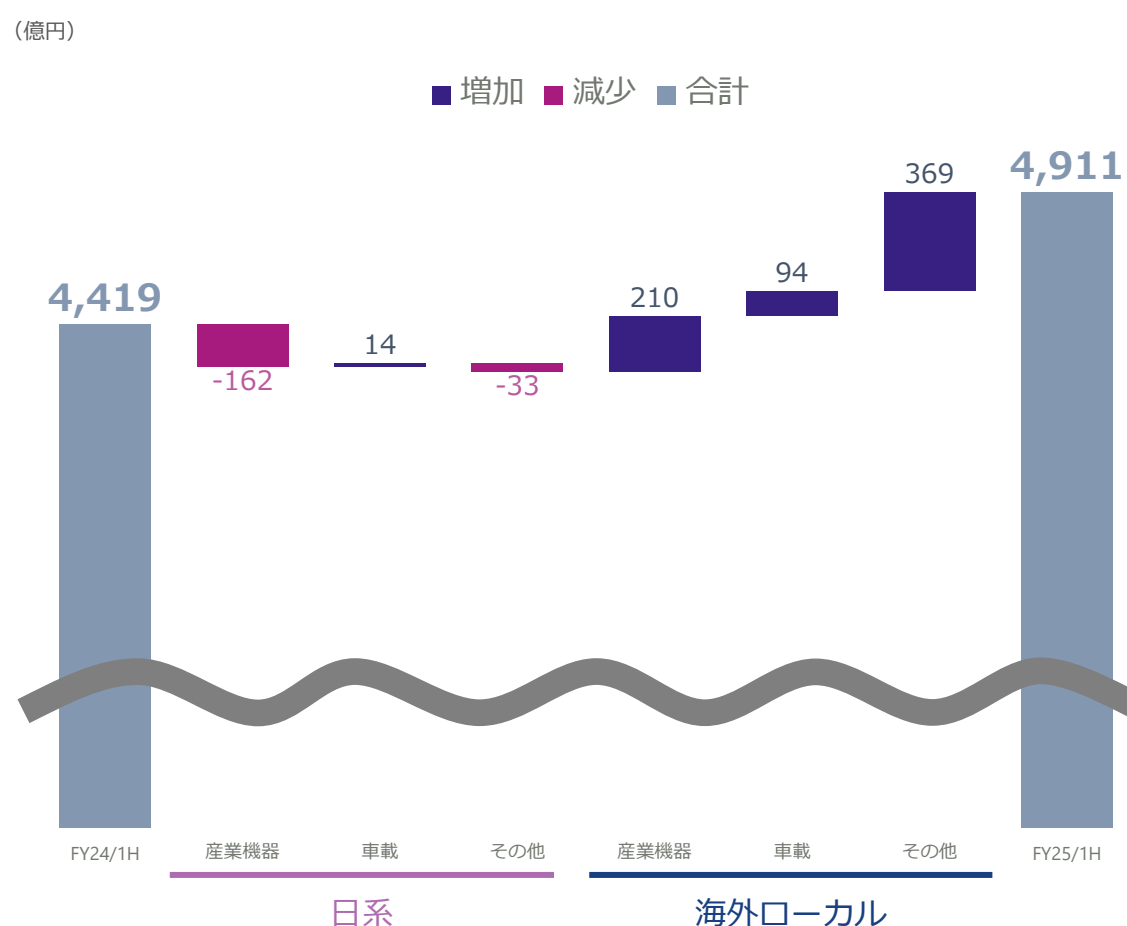
02. 中期経営計画 (2025～2027年度)

② 半導体事業

増減要因

前年同期比492億円増（+11%） 国内市場は伸び悩むも海外が成長

（億円）



日系企業向け

- 産業機器：在庫調整の影響にて幅広い分野で減少
- 車載：高性能化等による増加に加え、商流移管が寄与
- その他：AI関連で増加はあったが、通信インフラ需要が減少

海外ローカル企業向け

- 産業機器：商流移管に加え、市場も緩やかに回復傾向
- 車載：商流移管により増加
- その他：AIサーバー向けに需要が増加

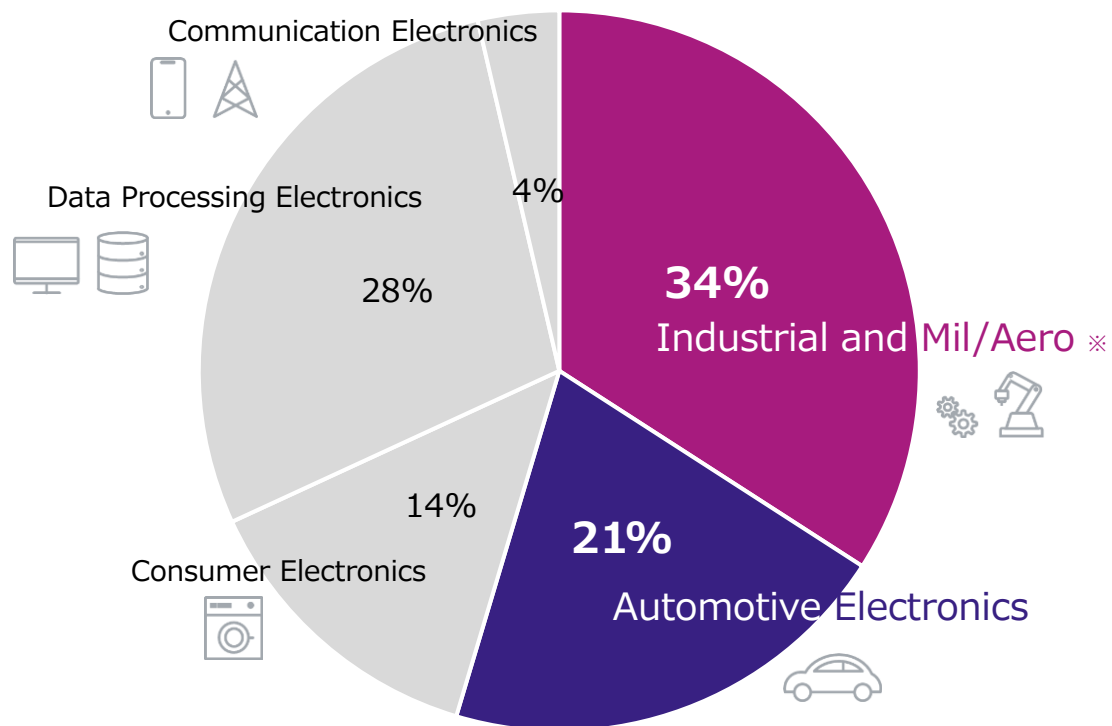
全体への影響

円高による為替影響

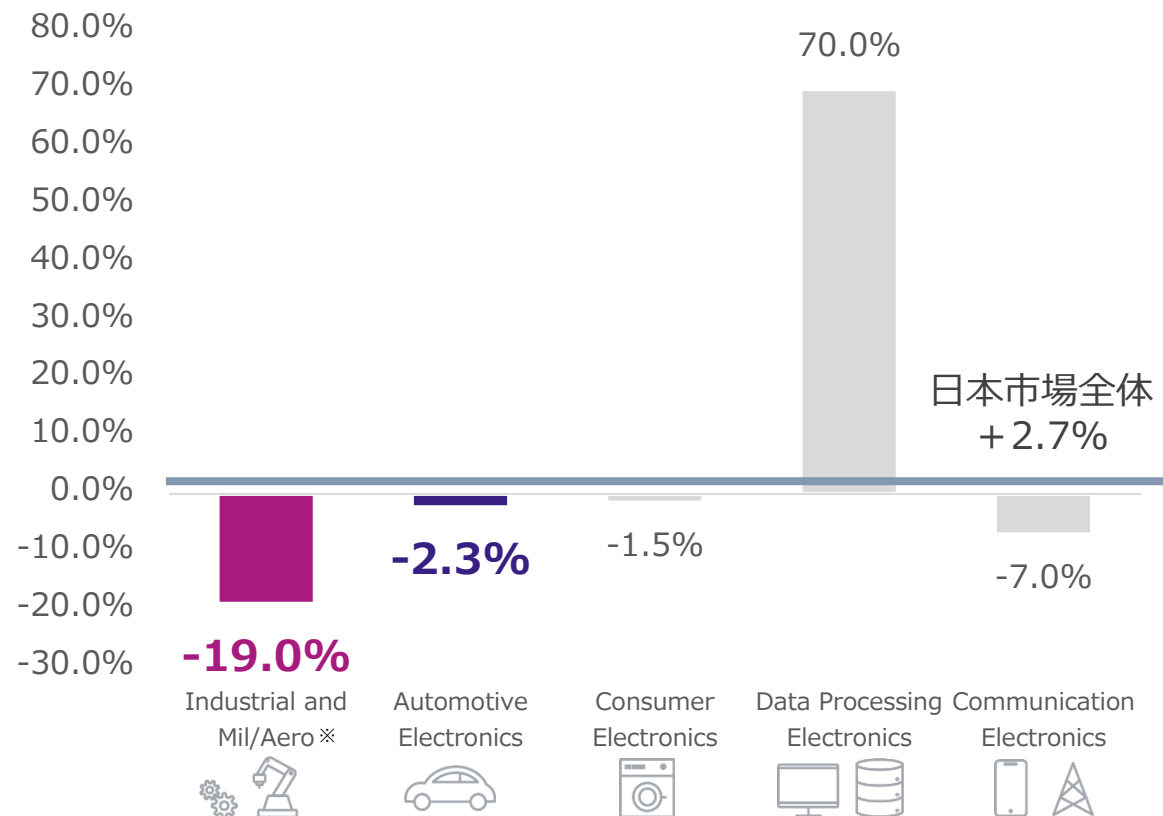
国内戦略市場（産業機器、車載市場）の状況

産業機器、車載市場がマイナス成長、市場全体としてスローダウン

国内半導体市場 CY24の構成比



国内半導体市場 成長率（CY23-24）



Charts/graphics created by Macnica based on Gartner® research. Calculations performed by Macnica.

Source : Gartner®, Forecast: Semiconductors and Electronics, Worldwide, 2023-2029, 3Q25 Update, Masatsune Yamaji at, 23 September 2025, Revenue by Semiconductor Device basis.

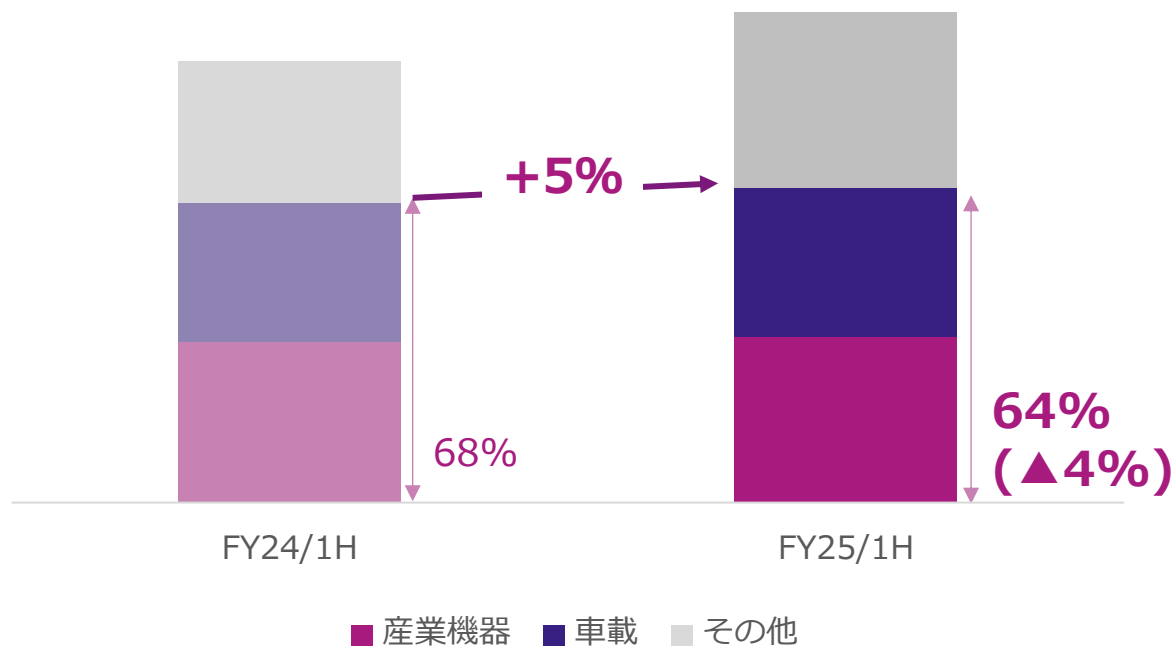
GARTNER is a registered trademark and service mark of Gartner, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and internationally and is used herein with permission. All rights reserved.

※ Industrial and Military/Civil Aerospace Electronics

産業機器・車載市場とコンピュータ市場（当社売上）

産機市場は微増、車載・コンピュータ市場が成長

前年同期比



産機と車載の合計 前年同期比 + 5%

産機 前年同期比 + 3%

車載 前年同期比 + 8%

その他は前年同期比 + 24%

コンピュータ 前年同期比 + 91%

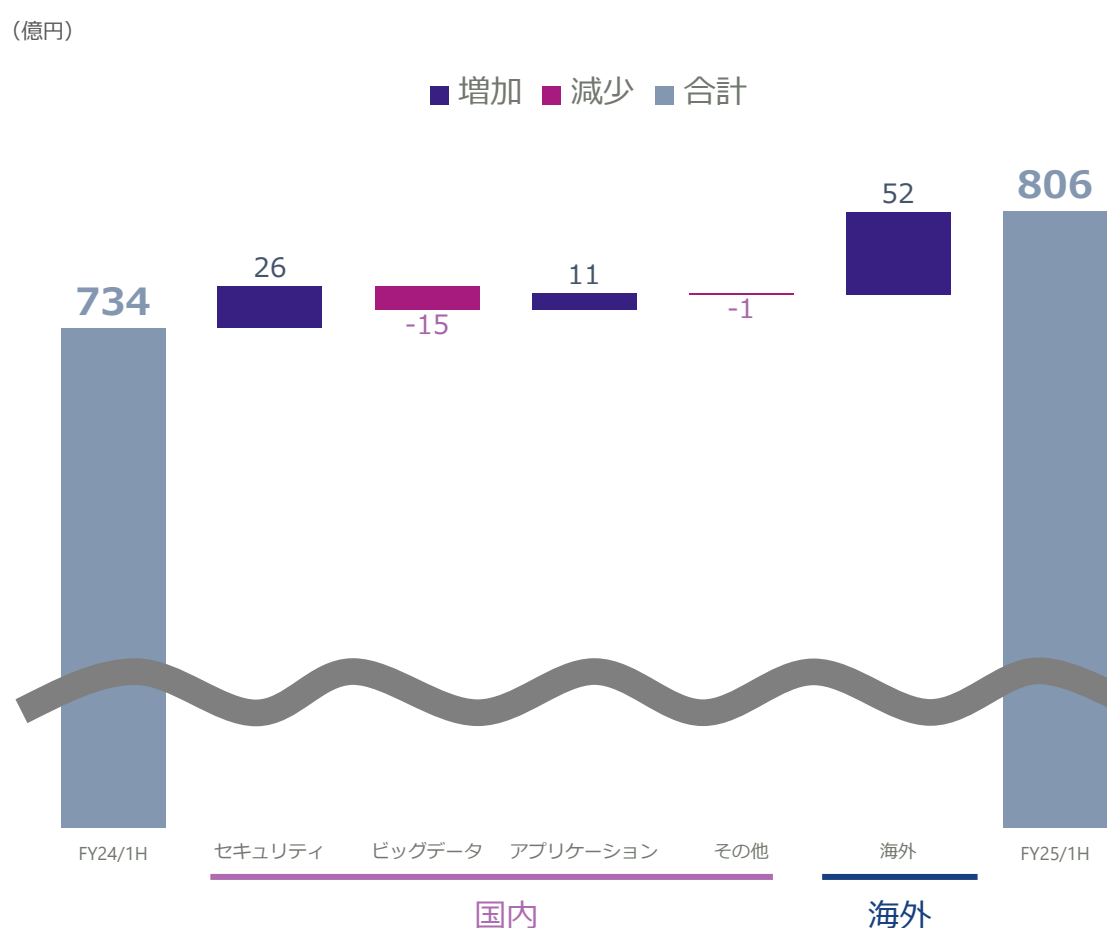
02. 中期経営計画 (2025～2027年度)

③ サイバーセキュリティ事業

増減要因

前年同期比72億円増（+10%）、ビッグデータ以外のフォーカス市場で成長

（億円）



国内 前年同期比20億円増（+4%）

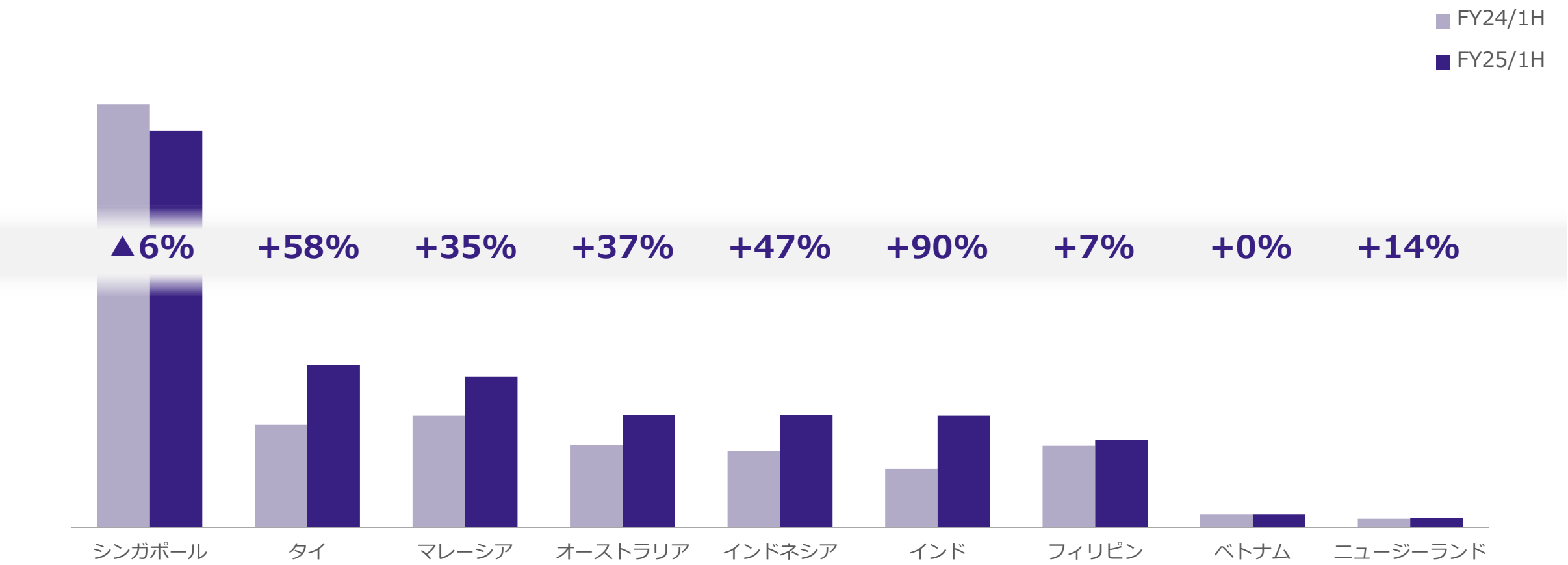
- ・セキュリティ（+7%）
Webアプリケーション、エンドポイント、セキュリティマネジメントを中心に伸長
- ・ビッグデータ（▲25%）
昨年1Hは大型案件があった為、前年同期比はマイナス成長
- ・アプリケーション（+22%）
クラウドアプリケーションを中心に伸長

海外 前年同期比52億円増（+21%）

タイ、マレーシア、オーストラリア、インドネシア、インドを中心に伸長

海外サイバーセキュリティ事業

タイ、マレーシア、オーストラリア、インドネシア、インドを中心に伸長



※ %表記は前年同期比。

セキュリティ研究センター

メディア露出が増加



テレビ 13回	ニュース7	NHK	4/6
	DayDay.	日本テレビ	4/9
	グッド！モーニング	テレビ朝日	4/9
	DayDay.	日本テレビ	4/11
	ワールドビジネスサテライト	テレビ東京	4/18
	報道ステーション	テレビ朝日	4/22
	かんさい情報ネット ten.	読売テレビ	4/24
	ワールドビジネスサテライト	テレビ東京	5/9
	クローズアップ現代	NHK	5/20
	マネーのまなび	BSテレ東	6/2
	NewsLink	テレビ神奈川	8/27
	午後LIVE ニュースーン	NHK	9/5
	DayDay.	日本テレビ	9/9
新聞等 10回	日本経済新聞 朝刊	日本経済新聞社	4/11
	日本経済新聞 朝刊	日本経済新聞社	5/3
	中日新聞	中日新聞社	5/3
	日本経済新聞 朝刊	日本経済新聞社	5/23
	朝日新聞	朝日新聞社	5/25
	週刊現代	講談社	5/26
	日本経済新聞 朝刊	日本経済新聞社	5/31
	朝日新聞	朝日新聞社	6/13
	読売新聞	読売新聞社	6/21
	産経新聞 夕刊	産経新聞社	8/26

インターネットオリジナル・転載件数100件以上

セキュリティ研究センター

ランサムウェアの対策

ランサムウェアの被害の増加

- ① 攻撃件数の増加
- ② 不十分なセキュリティ対策
- ③ セキュリティ対策を回避・停止する攻撃技術の進化

ランサムウェアの対策のポイント

- ① ランサムウェアの侵入を防ぐ対策
- ② ランサムウェアの攻撃実行を防ぐ対策
- ③ ランサムウェアの攻撃にあった際の回復としてのバックアップ対策

堅牢なセキュリティ製品・コンサルティング・実装支援

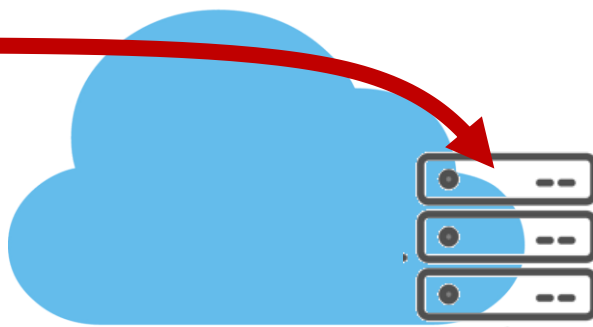
自社サービス

ASM (Macnica Attack Surface Management) が好調



セキュリティ研究センター

powered by macnica

最前線の攻撃リサーチ
攻撃トレンドの変化対策サービス
アナリストが対応対策サービス
自動化インターネット
ゲートウェイが
狙われる

社内システム

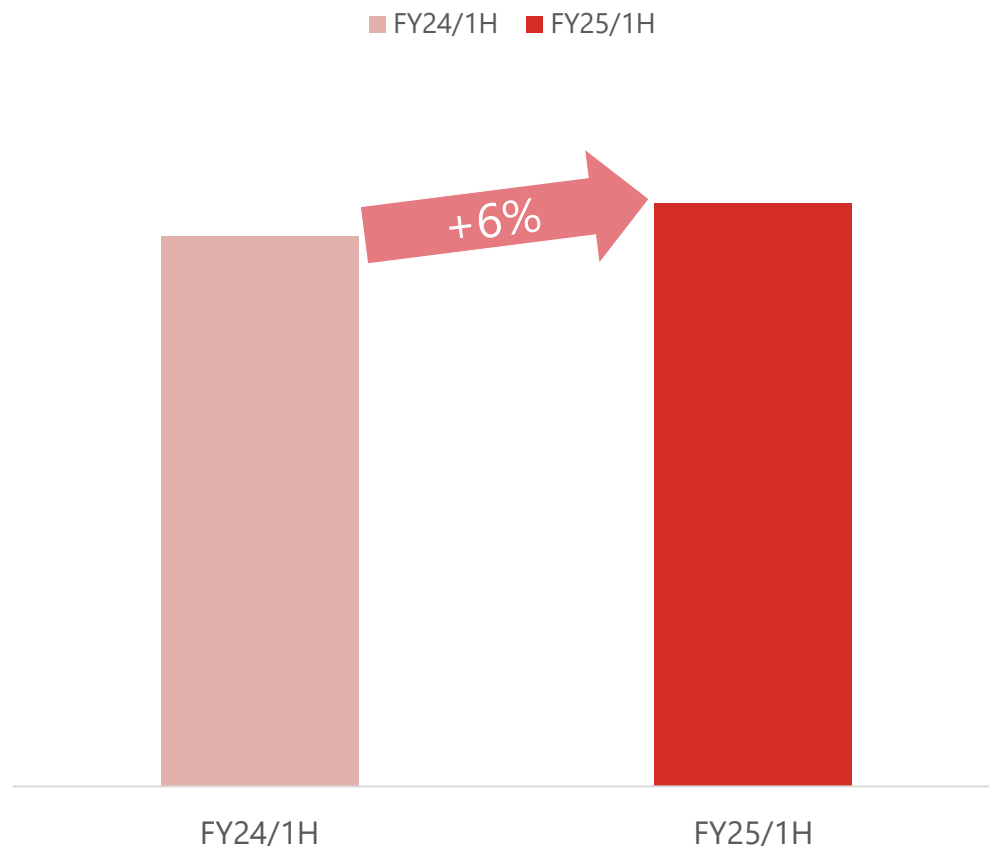
[ITR Market View:
サイバー・セキュリティ・コンサルティング・サービス市場 2024]
ベンダー別売上金額シェア[ITR Market View:
サイバー・セキュリティ・コンサルティング・サービス市場 2024]
ベンダー別売上金額シェア[ITR Market View:
サイバー・セキュリティ・コンサルティング・サービス市場 2024]
ベンダー別売上金額シェア[2023 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧]
© 2022 年度実績、ベンダーシェア[2024 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧]
© 2023 年度実績、ベンダーシェア[外部委託対策ソリューション市場の現状と将来展望 2024 年度]
© 2022 年度、売上金額シェア[外部委託対策ソリューション市場の現状と将来展望 2024 年度]
© 2023 年度、売上金額シェア

02. 中期経営計画 (2025～2027年度)

④ CPSソリューション事業

スマートシティ/モビリティ

新型自動運転EVバス「EVO3」を発表



スマートシティ/モビリティ

• 新型自動運転EVバス「EVO3」を発表

- Navya製自動運転ソフトウェア「Navya Drive」搭載
- センシング機能の強化と最新アルゴリズムによる走行性能の向上



- 日本初 ※1となる6自治体（岐阜県東濃5市（恵那、多治見、中津川、瑞浪、土岐）と下呂市）における広域連携及び自動運転実証運行などが、日本政府による実証実験プロジェクト ※2に採択

※1 自社調べ

※2 2027年までに100カ所以上への自動運転車両の導入とレベル4運行の目標を含む地方交通のデジタル化を推進した取り組み

02. 中期経営計画 (2025～2027年度)

⑤ 経営基盤強化

人的資本の最大化

次の10年を見据えた人財開発体系



2025

Career Ownership
Management
Award

最優秀賞

(大企業の部 人事/HRの変革部門)

DXの取り組み

自社製品の開発スピード加速と生産性向上

経営課題

“サービス・ソリューションカンパニー”への変革

DX
取り組み方針サービス・ソリューションの
開発スピード加速

生産性向上による収益性改善

施策

変革

共通基盤の拡張と
データ利活用の促進

- 全社DX 開発/PoC環境
- 商用データ基盤

成長

IT・DX基盤整備

- 基幹システム海外展開
- ハイパーオートメーション
- プロセスマイニング
- 生成AI活用基盤整備

基盤

グローバルサポート
フレームワークの構築

- DXコア人材の育成推進
- 全社員へのAI教育推進
- ゼロトラストセキュリティ

自社サービスの量産

DX人材の創出

グローバルレベル生産性向上

 DX銘柄2024
Digital TransformationDX注目企業2025
Digital Transformation

ブランディング強化

テレビCMを開始

テレビCM

番組提供

テレビ朝日『サタデーSTATION』

2025年10月～2026年3月

スポット放映

関東：TBS/テレビ朝日/テレビ東京

関西：関西テレビ/朝日放送/テレビ大阪

その他地区：中部・福岡・北海道の一部テレビ局にて

ラジオCM

オールナイトニッポン

2025 65th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDSのラジオ&オーディオ広告部門でシルバー、ブロンズ、ファイナリスト各1本受賞



CM特設Webページ

詳細はこちらのQRコード
よりご覧いただけます。
([リンク](#))

その他

サッカーチームスポンサー

横浜FC、川崎フロンターレ

野球場の看板広告

甲子園球場、横浜スタジアム

交通広告

新幹線デッキ広告

新横浜駅

JR（首都圏一部）駅広告

採用向けデジタル広告

Instagram、X、Google、Yahoo!、LINE

企業デジタル広告

Youtube、TVer、Abema

学内メディア

大学学食トレイ

IR活動の強化

IRイベントの強化

IRイベント



統合報告書説明会



ユーザベース社イベントでIRの取組説明



CrowdStrike社 取締役会長
Gerhard（ゲルハルド）氏との
投資家向け対談セッション
([リンク](#))

ディスクロージャー

統合報告書 “LIMITLESS 2025”を発行
統合報告書 ([リンク](#))
日英同時リリース
統合報告書説明会 ([リンク](#))



統合報告書 **MACNICA**
マクニカホールディングス株式会社

経営基盤強化

サステナブルな成長基盤の継続強化



IR/SR

- 統合報告書
- IRサイト刷新
- 対話の充実
- JPX日経インデックス400
- 日経500種平均
- TOPIX 500
- FTSE All-World Index

人的資本

- 新人事制度
- DEIステートメント策定
- 健康経営宣言
- Macnica University構築
- Career Ownership Management Award 2025 最優秀賞(大企業の部 人事/HRの変革部門)
- 健康経営優良法人2025
- 第二東京弁護士会 ファミリー・フレンドリー・アワード

環境・人権

- 環境VISION、環境方針更新
- マクニカグループ 人権ポリシー策定
- EcoVadis利用開始 (人権リスクモニタリング)
- 外部通報窓口設置
- SBT認定
- CDP 気候変動 B, 水セキュリティB-, サプライヤーエンゲージメント A-
- GRIスタンダードを参照した情報開示

IT/DX

- プロセスマイニング
- ハイパーオートメーション
- ローコード/ノーコード開発システム
- 生成AI活用基盤
- DXプロジェクト
- SCM/CRM活用推進
- 2025 CRMベストプラクティス賞
- DX銘柄2024
- DX注目企業2025

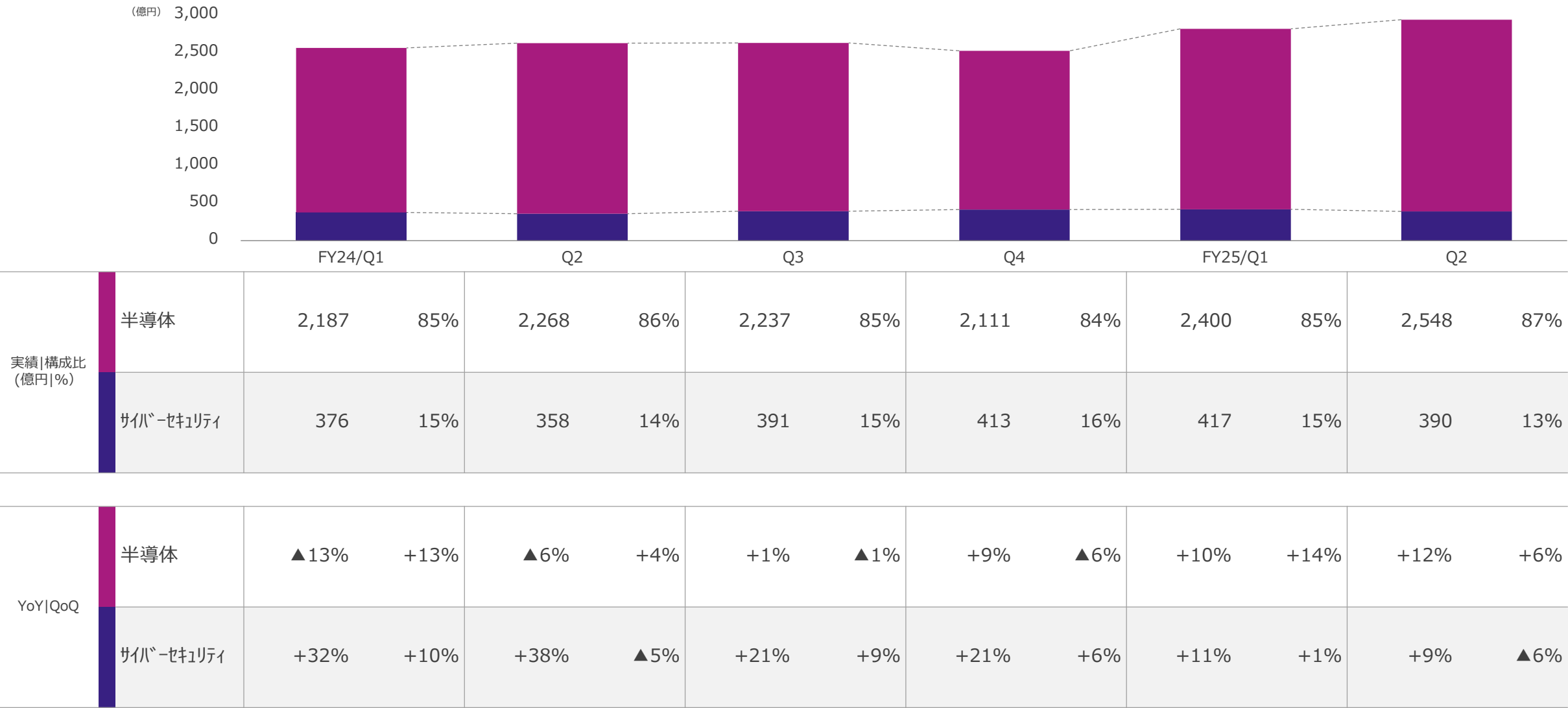
その他

- MSCI ESGレーティング BB
- マルチステークホルダー方針策定
- パートナリシップ構築宣言
- グループ全体リスク可視化
- リスク管理規程整備
- グローバルキャッシュフローマネジメント強化
- 腐敗防止ポリシー策定

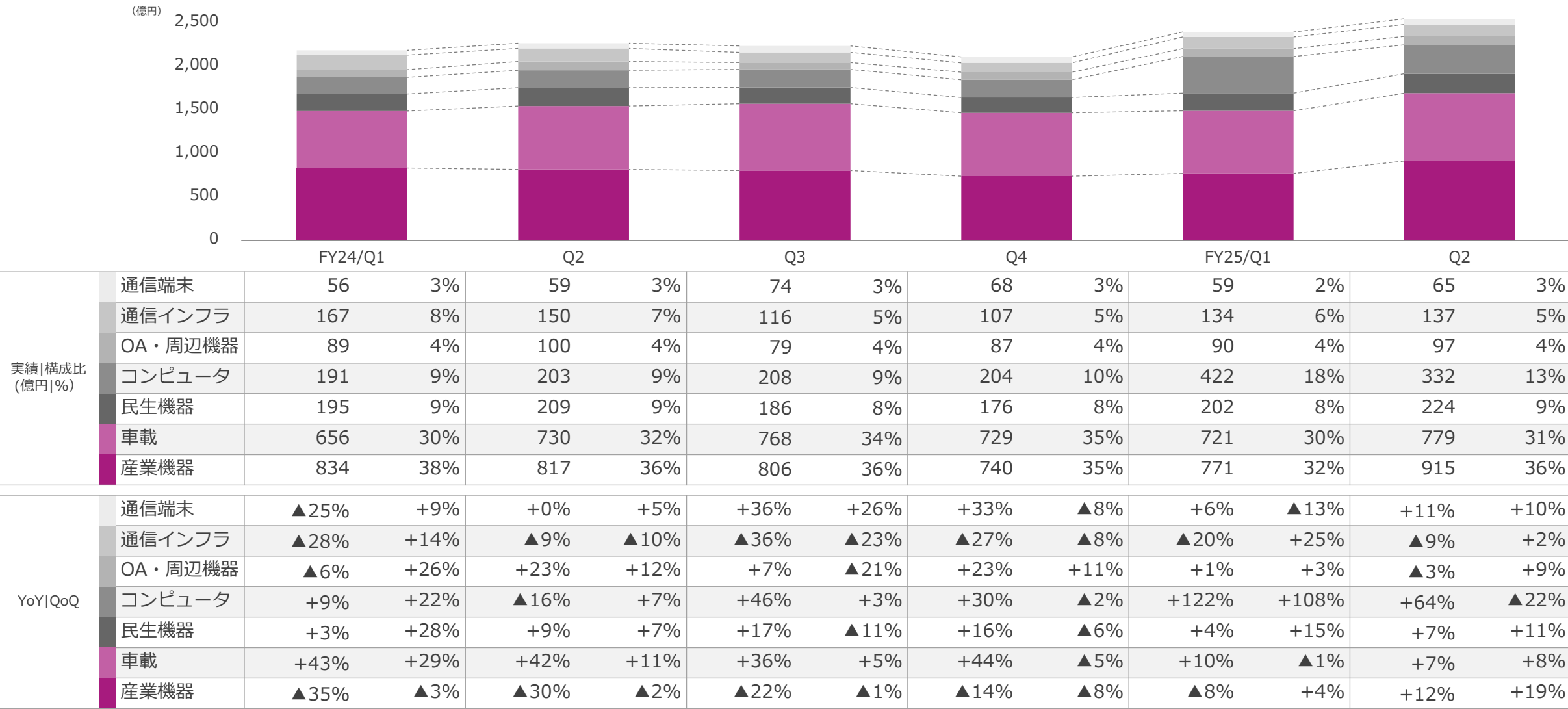
Appendix

※ Appendix以降は、決算開示セグメントと同様の数字であり、半導体事業とサイバーセキュリティ事業にCPSSソリューション事業の数字が含まれており、数字が重複しております。

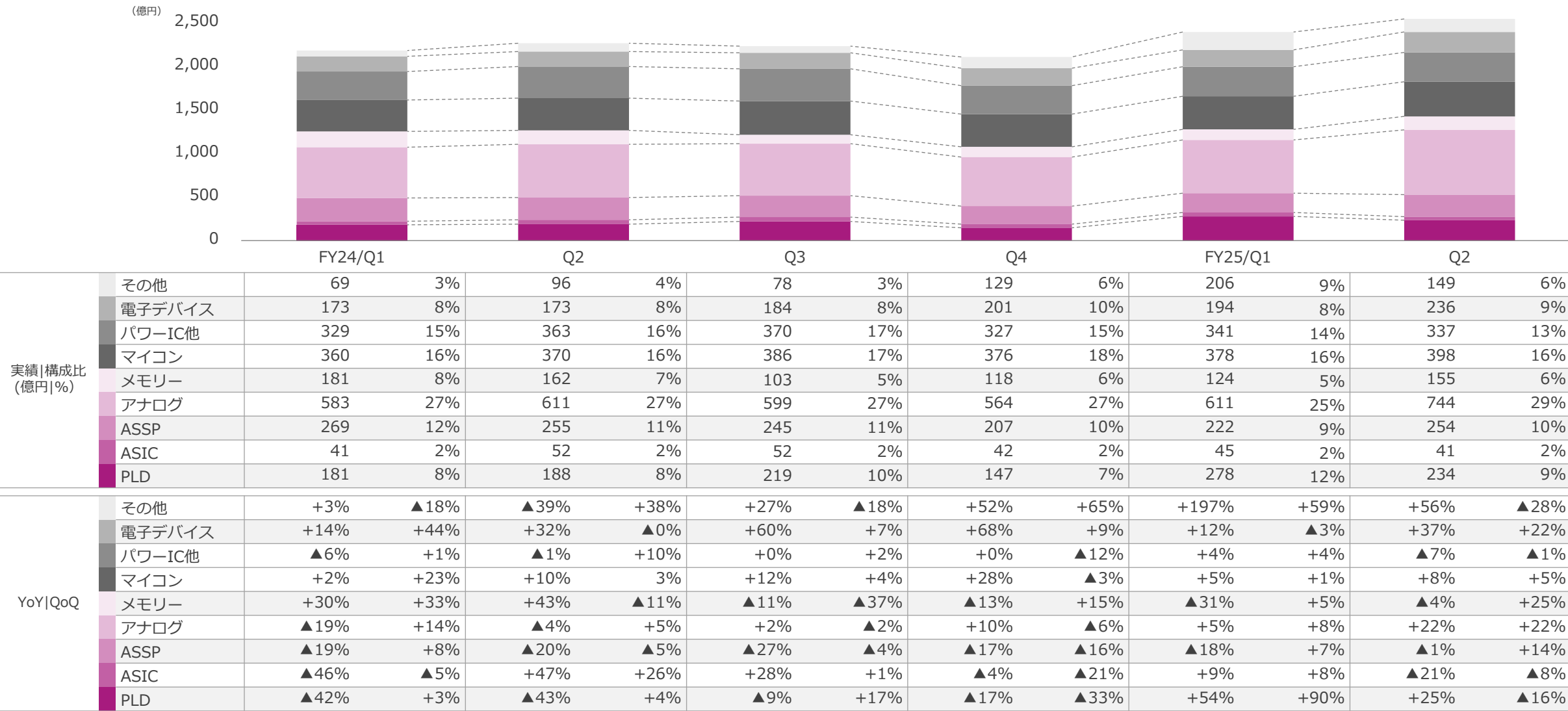
四半期推移 セグメント別：売上高



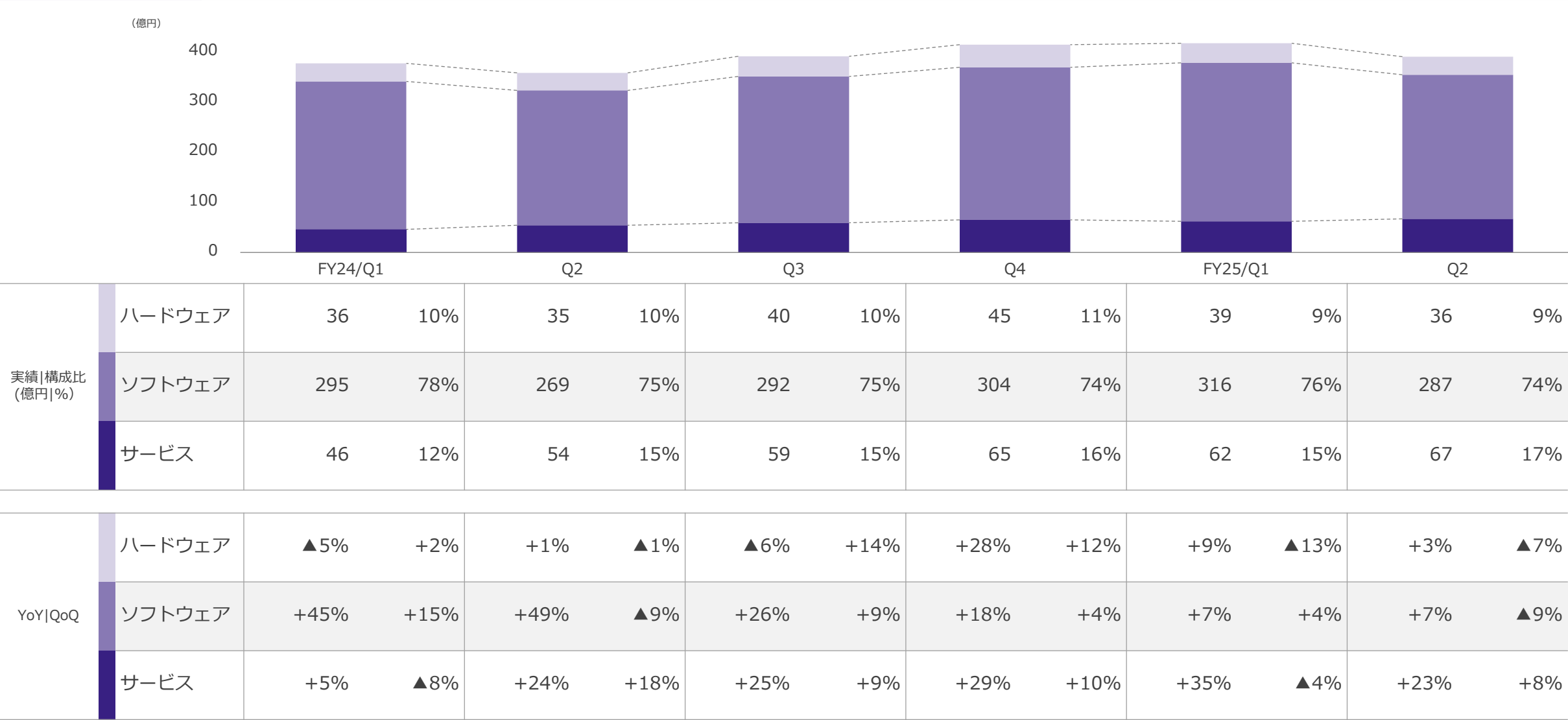
四半期推移 半導体事業（用途別）：売上高



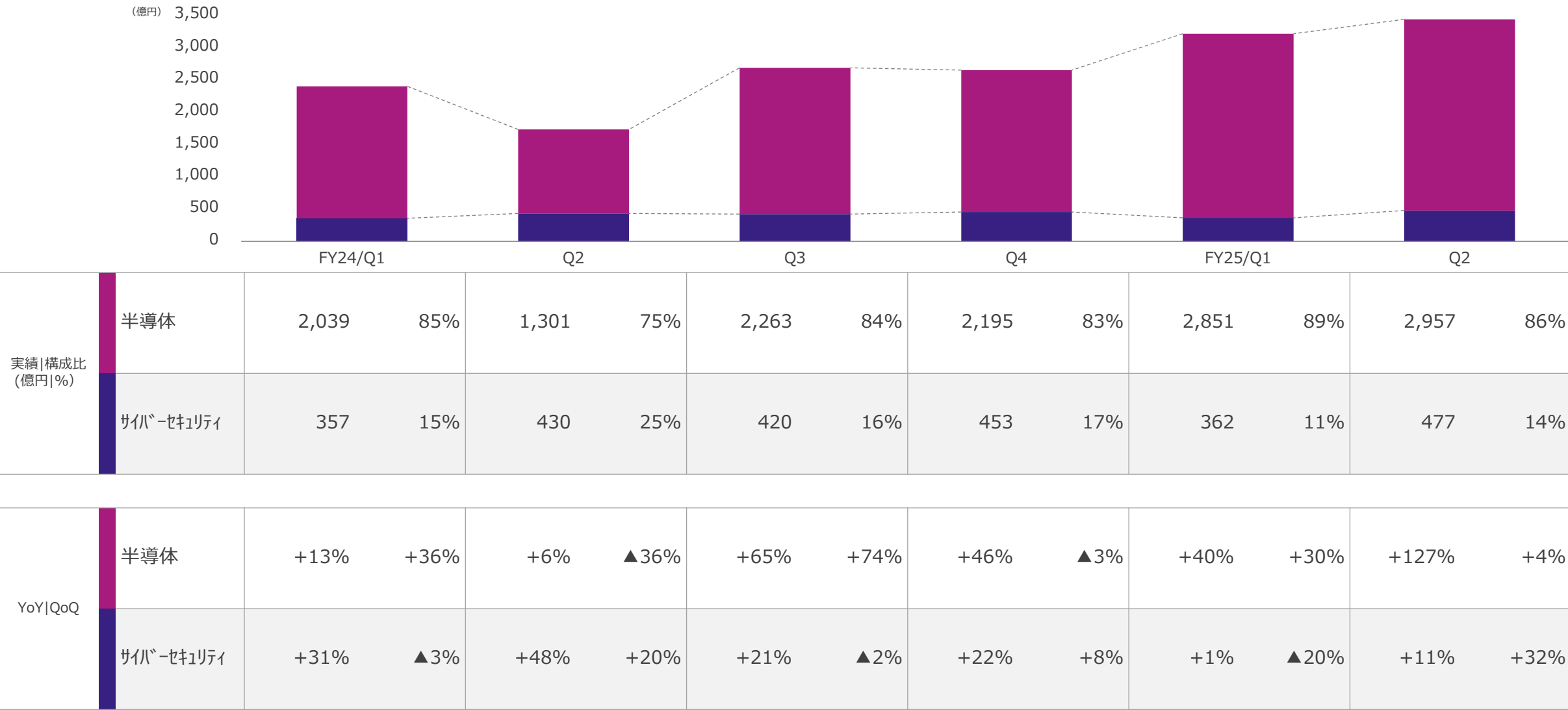
四半期推移 半導体事業（品目別）：売上高



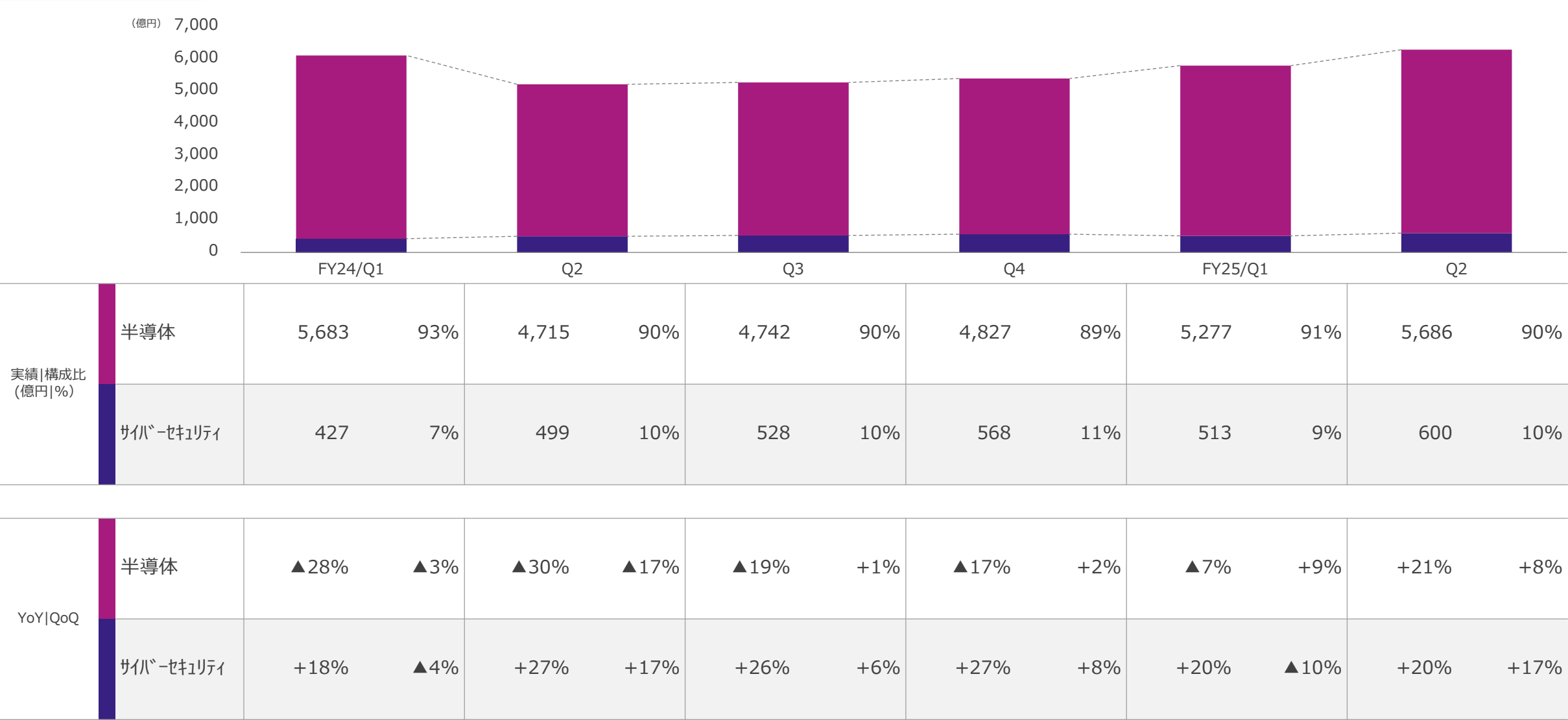
四半期推移 サイバーセキュリティ事業（品目別）：売上高



四半期推移 セグメント別：受注高



四半期推移 セグメント別：受注残高



macnica